

# 学校だより



平成27年5月29日

横浜市立二谷小学校  
校長 渡邊 文子

## 293の輝き 二谷小運動会

学校長 渡邊文子

創立110周年記念の運動会が、多くの皆様のご協力が無事に終わりました。暑さが心配でしたが、予定どおり全てのプログラムを実施することができました。保護者・地域の皆様の様々なご協力に深く感謝申し上げます。

1、2年生の可愛らしい動きとにこやかな表情。3、4年生の友達と支え合って作り上げた組体操。5、6年生の「自分たちのソーランを見てほしい。」という意気込みの伝わる二谷ソーラン。いずれも練習の成果を十分に発揮していました。放送機器の不具合で1、2年生のダンスではアクシデントがありましたが、応援席から聞こえてきた「アンコール」という声に励まされて、1、2年生も一生懸命に踊ることができました。「『やり直し』ではないよ。『アンコール』だよ。だから頑張れ。」と応援する気持ちが伝わってきて、温かい言葉をかけてくれた子どもたちに感謝の気持ちでいっぱいになりました。(不具合は砂ぼこりによるものでした。来年度への改善課題といたします。)

二谷小学校の子どもたち全員が参加し、一人一人が輝きを見せてくれた運動会でした。特に5、6年生は運動会をリードする立場として活躍することで、いちだんと高学年らしさが増してきました。今週の月曜日の朝会では、運動会の素晴らしかったこととして、前述の「アンコール」の声のほか、相手の組や代表で頑張っている応援団を大事に思う態度が立派であったこと、勝ち負けを越えて、最後まで諦めずに自分の全力を出す姿に感動したこと等を子どもたちに話しました。

二谷小学校の伝統をつくっているのは、まさしく子どもたちです。110年の歴史を引き継ぎ、これからも温かく、自分の力を尽くす前向きな気持ちを自分たちの宝として、新しい歴史をつくっていってくれることでしょう。

さて、文部科学省では次期学習指導要領の方向性について、すでに議論が進められています。昨年の11月には中央教育審議会 文部科学大臣諮問文が示され「知識の伝達だけに偏らない」「何ができるようになるか、どのように学ぶかの重視」「自ら課題を発見し、解決に向けて主体的・協働的に探究」等が話題になっています。その背景にあるのは、子どもたちが成人して社会で活躍する頃には厳しい挑戦の時代になるという予想です。大学入試の改革も進められるようです。

このように大きな変化の中で成長する二谷の子どもたちに、どのような力を育成するか、そのために日々の授業はどのように改善すればよいか、今年度も国語科の授業を中心として研究を推進してまいります。運動会が終わり、6月は子どもたちのさらなる輝きを目指して、授業づくりに取り組みます。